

図書館サービスの段階的な再開について

直方市立図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、段階的なサービスの提供を行っていきます。本来のサービスに戻るまでには、しばらく時間がかかりますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

サービスの状況につきましては、図書館ホームページや館内掲示をご覧ください。

お知らせ

第14回ユメまつりについて

毎年夏に開催していたユメまつりは  
10月10日(土)に開催いたします。

こどものほん新刊案内はじめます

図書館に入った新刊児童書から、毎月  
児童書担当おすすめの本を紹介します。  
ホームページ上の「こどものほん新刊  
案内」から見るができます。  
ご活用ください！



一般展示 8/25(火)まで

「☆おうちをステキにチェンジ☆」

児童展示 8/25(火)まで

「読書ですずもう☆  
～夏のおすすめ本～」

熱中症に  
ご注意ください！



直方市立図書館カレンダー



8月

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■は休館、太字は17時閉館

会場：◇図書館おはなしコーナー、★ユメシティ小ホール

- 8/8(土) 14時～ おはなし会(やまびこ会)◇
- 23(日) 11時～ おはなし会(図書館職員)◇
- 29(土) 11時～ おはなし会(まほうの箱)◇
- 30(日) 10時～ おもちゃ病院(受付13時まで)★

9月以降のイベントは決まり次第、図書館ホームページや館内掲示でお知らせします



おはなし会に参加されるみなさまへ  
 コロナウイルス感染症予防対策として  
 ・マスクの着用 ・手指の消毒  
 ・間隔をあけての着席  
 をお願いします。  
 入場制限をさせていただくこともありますので  
 ご了承ください。



# コレクション

## 姑の遺品整理は、迷惑です

垣谷 美雨//著 Fカ

急死した姑の遺品整理をすることになった嫁の望登子。コレクションというよりは、あまりに雑然とした物の多さで、姑を恨めしく思います。夫も手伝ってくれるものの、彼も捨てられないタイプで負担は倍増し、けれど終盤は、知らなかった姑の人生に出会い、温かな気持ちに。誰もが直面する問題をユーモラスに描いた作品。

【るー】

## 標本 BOOK

さとう かよこ//著 460.7サ

可愛い花、美しい貝殻、柔らかな羽毛…お気に入りのモノって集めたくありませんか？本書はそんなモノ集めが好きな人におすすめの一冊です。

植物、動物、ガラス瓶から鉱物まで沢山の標本の作り方や、お洒落なインテリアアイテムとしての活用法も紹介されています。自分だけのコレクションを手作りしたい方は、ぜひ手に取ってみて下さい。

【フクロウ】

## キュッパのはくぶつかん

オーシル・カンスタ・ヨンセン//さく E949ヨ

キュッパはいろんなものを集めるのが好きな丸太のおとこのこ。集めたあとは、名前を調べて、ぶんるいして、はこにしまいます。しまいきれなくなったので、みんなにみてもらうためにおうちを博物館にすることに。でも、もとのおうちが恋しくて、博物館をやめてしまいます。さて、たくさんのコレクションはどうするのでしょうか？

好奇心いっぱいのキュッパが可愛くて楽しい絵本です。

【kn<sup>2</sup>】

## セミクジラのぬけがら

如月 かずさ//作 K913キ

幼い頃、道端に落ちている物を拾い集めていた経験がある方も多いのではないのでしょうか。主人公のミッチも、道端で様々な物を拾ってコレクションにしています。

ミッチが道端で拾った木の欠片は、木の欠片ではなく本物のクジラ。しかし、私達が知るクジラとは異なっていて…？

集める楽しさや、集めたことで発見した未知なる出来事へのワクワクを感じられる一冊です。

【京】

## デトロイト美術館の奇跡

原田 マハ//著 Fハ

全米屈指のコレクションを有するデトロイト美術館が、市の財政破綻に伴い存続の危機にさらされていた。美術館に特別な思いを寄せる市民やキュレーターたちは、名画流出を食い止めることができるのか…。

名画「マダム・セザンヌ」をキーワードに人と人がつながり、アート愛あふれる物語になっています。

【K】

## ふるさと玩具図鑑

井上 重義//著 759.9イ

日本各地にある郷土玩具。それは子どもが健やかに成長することを願い、紙や木、土などその風土の材料で作られていたが、近代化とともに工場で大量生産できる玩具の登場や、後継者不足などで、現在は廃絶してしまったものも少なくない。

旅先のお土産として流行り物もいいが、その土地のふるさと玩具を自宅の一角にコレクションとして並べるのもまたいいかもしれない。

【ダック】

毎月、司書がひとつのテーマにそって本を紹介します。

※【 】は司書のペンネームです。